

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州産業学術推進機構
-----	--------------------

所管課	産業経済局 産業イノベーション推進室
-----	--------------------

団体に対するミッション
①北九州学術研究都市の研究開発拠点化を推進する。 ②産学連携による技術力の強化と新事業創出を推進する。 ③企業活動の生産性向上を推進する。 ④ICT産業の振興と地域ICT関連企業等の集積を促進する。 ⑤中小企業の経営支援と創業を促進する。

行財政改革大綱における見直し内容
これまでの取組みや成果について、評価・検証の上、今後とも本市の産業振興の原動力として同団体に求める役割を整理する。さらに、この役割を達成するために取り組むべき事業や組織体制について、必要に応じ有識者等の意見も踏まえながら、精査・検討する。 また、この検討の中で、九州ヒューマンメディア創造センターとの統合についても検討していく。

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	九州ヒューマンメディア創造センターとの統合により、それぞれの強みを融合させ、企業のロボットやIoTの活用等による革新的生産性向上に向けた支援等を行うことにより、自らものづくりの変革や価値の創造に取り組むような中小企業を増やしていく。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
産学連携施設の入居率	72%	74%	70%	73%	70%	74%	70%	進捗状況をみて、令和2年度末に目標を再設定
事業化金額	39.1億円	51.0億円	50.8億円	49.1億円	54.0億円	110.9億円	56.0億円	
革新的生産性向上企業数（累計）	—	—	1件	12件	6件	13件	9件	
新ビジネス（情報産業）創出数	—	—	0件	4件	2件	4件	2件	
窓口相談等の課題解決件数（知財含む）	—	—	404件	536件	400件	434件	400件	

ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）

団体における評価 FAIS第5期中期計画に掲げるメインミッションである自立できる産業づくりに向け、企業・大学との連携を密にしなが、人材育成や研究開発、事業化への支援を実施した。また、H30年度の九州ヒューマンメディア創造センターとの合併により、地域企業の生産性向上を図るため、双方の強みを融合させた取り組みを強化し、ものづくり現場へのIoT活用促進を一層進めた。 その結果、主な成果指標として掲げられている項目については目標を達成した。	市の評価 ミッションに基づく具体的な取組みについては、企業訪問件数や講座開催件数など「新型コロナウイルス感染症」の影響で達成できなかったものがあるものの、主な成果指標は各指標とも目標を上回っており、評価できる。
今後の課題及び見直し内容（案） FAIS第5期中期計画を踏まえ、地域企業の生産性の向上や技術力強化、経営支援等に向けた取り組みを強化していく。 また、COVID-19を乗り越え、新たな成長を促進するため、DX等IT導入やスタートアップ支援を強化する。	団体への改善指導内容（案） 中期目標に基づき、事業を着実に実施し、各指標を達成できるよう指導する。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	統合を検討する団体 特に事業内容を精査する団体
1 統合の検討について 平成30年4月1日付でFAISとHMCは統合した。 2 特に事業内容を精査する団体 FAISとHMCの統合により、ものづくり分野などに関して企業や大学等が有するシーズ等に精通したFAISと、情報通信分野で優位性を持つHMCのそれぞれの強みを融合し、ロボットやIoTの活用等による地域企業の生産性向上に向けた支援など、統合による相乗効果を活かした事業に取り組んでいく。	